

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表										
事業所名	てらびあぼけつと北千住教室									
公表日	2025年 3月 20日									
利用児童数	20	回収数	14							
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	ごどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1			活動に支障は無いと思うがもう少し広いと良いと思う。 決して広くはありませんが、少ない人数での枠なので十分だと思います。 個室も含めスペースは良いと思う。	設置基準以上の面積は確保しておりますが、活動内容や同時に使う人数等の運用の工夫を行ない、のびのびと活動できるようにします。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14				手厚い人数だと思います。 マンツーマンでとても良い。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14				子どもはどこで何ををしっかりと目で見ているので、わかりやすい配置になっていると思います。 分かりやすいと思う。	引き続き、お子様にとってわかりやすい、使いやすい環境設定を検討してまいります。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14				清潔感があり、整理整頓されている。	引き続き、丁寧な清掃、整理整頓を心がけ、快適にご利用いただけるようにいたします。		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13			1	子供の特徴をよく捉え、きめ細やかな対応をしておりますと感じている。 まだ始めたばかりで分かりませんが、きっと大丈夫だろうと思います。 何より息子が教室へ行くのを楽しみにしている事が、適切な支援を受けられている証拠だと感じています。先生方には本当に感謝しています。 子どもの生活を理解して頂いていると感じるので、子どもも楽しく通っていると思います。 通う回数に比例して子供のできる事が増えており、効果を実感している。	ご家庭や他機関でのご様子を共有いただき、教室でのご様子と合わせて、お子様の全体像の把握と適切な支援の提供に努めてまいります。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13			1	始めたばかりでこちらはまだ分かりませんが、不安はありません。	ホームページや見学時の資料で支援プログラムをご説明しております。		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14				ニーズに合った計画が作成されていると思う。 面談で今後の目標等しっかりお話できるので、満足しています。	ご家庭のニーズを受けて、適切にステップを組んで目標が達成できるように計画を作成いたします。		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14					個別支援計画に目標と合わせて項目を記載しております。		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13			1	事前に説明を受けた内容の支援が行われており、満足している。 まだ分かりませんが、この先に期待します。	ご家庭と確認した個別支援計画の支援目標に沿った支援を提供いたします。		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13			1	その日の体調や機嫌を考慮して支援内容を変えて対応してもらっている。 まだ詳しく分かりません。	お子様のその日のご様子や、その時の最優先の課題を見極めて柔軟に対応できるように努めます。		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	3	1	4	子どもの通う保育園は近い100メートルくらいのところ。とても近いので、可能なら、てらびあぼけつとの先生と保育園の先生と定期的に対話できれば、もっと良いと思います。 幼稚園入園前のため、まだない。	近隣の幼稚園、保育園には電話での情報交換や、園に見学に行ったり、教室に見学に来ていただいたりする機会を設けております。園の公開行事や地域のイベント等の情報収集をしていきます。		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					引き続き、丁寧な説明に努めます。		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					引き続き、個別支援計画の支援目標と実際の支援内容をしっかりと説明してまいります。		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	3	1	2	ペアトレがあれば参加したい。今はやっていない。この先行われると思います。	毎月のお便りや毎回のフィードバックでご家庭でできることをご紹介しております。今後、面談の機会を増やし、より各ご家庭にあった内容をご紹介、保護者様に実践していただけるようにサポートしてまいります。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14				どの先生が担当されてもきちんと把握して下さっている。	引き続き、保護者の方とお子様について情報交換し、共通認識を持って支援ができるように努めます。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14				聞きやすい先生の時は色々質問している。	定期的な面談以外にも、毎回のフィードバックの時間、ノート、メール等の手段を使ってご家庭のお困りごと等をお聞き取りし、対応方法を一緒に考えていきます。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13			1	まだ分かりませんが、この先に期待です。	表情や仕草等にも気を配り、お子様本人やご家族の皆様的心情をくみ取れるように努めます。		
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		3	4	7	聞いたことがない。	個別支援を求めて教室を利用しているご家庭が多いので、保護者会やきょうだいの交流の機会をニーズは高くないと考えております。今後、保護者会等の要望があれば検討してまいります。			
19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13			1	迅速、丁寧にお返事いただいています。	ご契約の際に相談窓口のご案内をしております。			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	1		3	最低限の連絡はもっている印象。教室の最後に直接お話しはするが、ホームページやSNSとなると私があり見ない為、わからないを選択しました。	毎月「てらほけLetter」を発行しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14					引き続き、個人情報の取り扱いには十分に気をつけてまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	2		2	そのように説明を受けました。	周知に努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	5		1		訓練の報告を目立つように掲示し、周知に努めてまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1		1	最初に入る時に説明があります。	周知に努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12			2		あらかじめお聞きした緊急連絡先に速やかにご連絡、状況を報告し、対応をご相談するようにしております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12			2	多分大丈夫そうです。	引き続き、お子様が安心して過ごせる教室となるように努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13			1	喋れないので分らないが自ら支度して出掛けようとするので、嫌がっていない。毎回通園が楽しいようで、自分で準備したり「今日行く？」って聞いてきます。多分好きだと思います。	お子様がまた行きたいと思う楽しい教室となるように努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14				大変満足している。いつもお世話になっております。少しずつですが、子どものできることが増えてきているように思います。これからも引き続きよろしくお願いいたします。こちらに通うようになってから子供ができる事が増え、親も安堵しています。現状を受け入れているつもりでも時々焦りが出てしまい、何とか普通の子に追いついてもらいたいと無我夢中になってしまう事があり、お迎えの時に先生とお話する時間がとても有意義です。色々な分野で経験を積んだ先生方がいて下さるので相談しやすく、親も支援して頂いているのを実感できます。ありがとうございます。最初から丁寧に見て頂き、感謝いっぱいです！担当の先生は毎回変わりますが、どの先生も大好きで楽しく通園しています。先生方が子どもに寄り添ってくださっており、私も安心してるandとても感謝しております。来年もどうぞよろしくお願い致します。丁寧に対応していただけていると思います。毎回楽しく通所させていただいています。通所開始以降、成長も感じられます。子供に合った、また親の希望も取り入れていただいた支援をいつもありがとうございます。	引き続き、ご家庭と密にコミュニケーションを取りながら、安心して楽しく通っていただける教室を目指してまいります。

事業所における自己評価結果

公表						
事業所名		てらびあぼけっと北千住教室				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		個室と広い療育室とを活動内容によって使い分けている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		個別支援が適切に提供できるような体制を整えている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		適宜、写真カードやスケジュールボード等の視覚の手がかりを使いながらお子様にとってわかりやすい環境となるようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		各クール終了毎に教材や玩具をアルコール拭きしている。毎日の清掃では次亜塩素酸で棚や机・いす、床等を拭いて衛生管理に努めている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		3つの個室と相談室があり、集団から離れて落ち着けるスペースが確保されている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		北千住教室は開所年度のため、第三者評価はまだ行っていない。法人内の他教室は受審済み。北千住教室も今後受審を検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		てらびあぼけっと本部の研修や外部研修に積極的に参加できるようにしている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		ホームページで広くいろいろな方が見られるように公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		各利用児童のファイルに入れて都度確認できるようにしている。提供する支援内容の検討の際には個別支援計画の内容が反映されているかを確認している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	プログラムの立案は経験の長い職員や児童発達支援管理責任者が中心となっていない、他の職員の意見を聞いて最終的に決定している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		個別支援の目標と集団活動の目標とを盛り込んだ計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎朝必ず朝礼でその日の内容を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		終礼でその日の振り返りを行なっている。一人ひとりのお子様の様子や検討事項の周知、ヒヤリハットの確認を行ない、話し合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		併用している保育園や幼稚園の先生と対面や電話等で情報交換している。園での生活に繋げられるように教室での支援内容を検討している。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		5	開所年度のため、実績なし。		
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5			こども同士の交流の機会はまだ設けられていないので、今後園との情報交換しながら交流の機会を検討する。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			せらびーの一とお迎え時のフィードバックの時間のお話を通して、日頃から保護者の方と共通認識が持てるようにしている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			毎月のお便りに教室での取り組みの解説や、ご家庭でできることをご紹介している。	各ご家庭に合わせた情報提供や助言ができるように、面談等の機会を増やしていく。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5				
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5				
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5				
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5			現状はニーズがあまりないと思われるが、今後保護者会や交流会のご要望があれば検討していく。同クールご利用の保護者の方たちを対象にプログラムの解説や参観の機会を設けていく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5				
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5				
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		近隣の保育園や幼稚園に開所時に挨拶をし、認知していただけるように努めている。	教室に行事の予定が現時点ではないので、引き続き教室の見学を随時お受けし、教室について知っていただく機会を作る。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5				
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1			新職員への周知徹底をしている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5				
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	3		食事提供はないので指示書の確認はしていないが、契約時にアレルギーの有無や常備薬の有無を必ず確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5				
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	5			毎日の終礼でヒヤリハットがなかったかを必ず確認している。あった場合は今後の対応や防止策を皆で検討している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5				
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5				

事業所における自己評価総括表			
公表	2025年3月20日		
○事業所名	てらびあぼけっと 北千住教室		
○保護者評価実施期間	2024年12月3日		～ 2024年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年1月16日		～ 2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援の時間が1時間程度あるので個々のニーズに合わせたきめ細かな支援ができる	個別支援計画にそってプログラムを決め、担当者同士でも日頃から話し合っ共有するようにしている。 支援記録(課題のデータ)に加えて、引き継ぎや保護者から聞き取った申し送り事項を記録に残し、終礼でも共有するようにしている。	てらびあぼけっとの825項目の基準ステップを軸にスモールステップで確実に発達を支援していく。
2	法人内に3教室あるので、課題が出たときに他の教室に相談したり協力し合える	支援方法やスモールステップの組み方を他教室の専門職に随時相談して支援に活かしている。	てらびあぼけっとの研修や外部研修に積極的に参加し、職員一人一人のスキルアップを図る。それぞれの専門性を活かしながらチームとしての力を高めていく。
3	個別支援の担当者を固定しないことで、いろいろな視点からお子様の支援を検討すると同時に、どの担当者とも楽しく活動し、安心して通える雰囲気作りをしている	毎回強化子を記録に残して共有し、お子様が楽しく教室で過ごせる環境を作っている。 楽しく学習が進むことを重視し、課題の設定やサポートの仕方を皆で検討している。	統一した対応やサポートの仕方が職員全員で共有できるように、具体的でわかりやすい記録を残すようにする。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々のお子様の支援のみでは得られる情報が限られ、広い視野が持ちにくい	幼稚園、保育園、その他併用機関との交流の機会が少なく、教室以外の場所での様子は保護者の方からの聞き取りが主になっている。 開所初年度で、限られたいくつかの機関としか情報交換できなかった。	併用機関ともっと密に連絡を取り、保護者の同意がある場合はTELや訪問等で情報交換を積極的にとっていききたい。
2	日々の業務だけで1日が過ぎ、事務作業の時間が確保しにくかったり、+αの仕事をする余裕が足りない	開所初年度で教材作成や新規利用児童の受入れ等の業務が多かった。 職員の勤務時間中、清掃や朝礼・終礼を除くとお子様のいない時間がほとんどなく、まとまった作業時間が作れない。	各職員のToDoをボードに書いて見える化し、作業を分担したり、個別支援の担当を調整して時間を確保できるように協力し合えるようにする。
3	安全計画や避難訓練の取り組みが弱かった	日常業務で手一杯になり、計画的に取り組むことが難しかった。	年度初めに計画を立て、訓練の報告を月のお便りや玄関に掲示する等で周知できるようにする。